



2022年10月27日

各位

会社名 神東塗料株式会社
 代表者名 代表取締役社長執行役員 高沢 聡
 (コード: 4615)
 問合せ先 企画・経理室部長 森 友宏
 (TEL. 06-6429-6264)

連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向をふまえ、2022年7月27日に公表した連結業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2023年3月期第2四半期連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2022年7月27日公表)	百万円 9,500	百万円 △500	百万円 △400	百万円 △450	円 銭 △14.53
今回修正予想 (B)	9,500	△600	△500	△850	△27.44
増減額 (B-A)	—	△100	△100	△400	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	9,577	△20	93	△41	△1.35

(2) 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2022年7月27日公表)	百万円 19,500	百万円 △650	百万円 △500	百万円 △600	円 銭 △19.37
今回修正予想 (B)	19,000	△1,200	△1,200	△1,700	△54.88
増減額 (B-A)	△500	△550	△700	△1,100	
増減率 (%)	△2.6%	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	19,136	△343	△243	△1,825	△58.95

(3) 修正の理由

2023年3月期第2四半期連結業績予想につきましては、ウクライナ情勢及び円安傾向も相まって、原材料価格の騰勢に収まる気配がない一方、当社は2022年4月28日付「当社製の一部製品に係る不適切行為に関する調査報告書公表のお知らせ」等で既報のとおり、当社製の一部製品に関し判明しました品質不適切行為の影響で、6月に公表しました製品価格改定が遅れました。また、品質不適切行為に関する補償費用等として305百万円を特別損失に計上する予定です。この結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回の予想を下回る見込みとなりましたため、公表することといたしました。

通期予想につきましても、上記の第2四半期連結業績予想の修正結果に加えて、遅れております製品価格改定の成果を一定程度織込み、労務費や広告宣伝費等の削減による改善を見込む一方、原材料価格の動向は一時の高騰からは落ち着くと予想するものの、前回予想との比較では依然として高止まりし収益を圧迫している影響が大きいと見込んでおります。こうした足元の状況を勘案し新たに想定した結果を業績予想に反映しております。

なお、品質不適切行為に関して、補償費用等をはじめとする損失が2023年3月期第3四半期会計期間以降に新たに発生し、当社の業績に影響を与える可能性があります。現時点で合理的に見通すことが困難であることから、通期予想の修正には織り込んでおりません。

2. 配当予想の修正

(1) 期末配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2022年5月16日公表)		0円00銭	—	2円50銭	2円50銭
今回修正予想		0円00銭	—	0円00銭	0円00銭
当期実績	—				
前期実績 (2022年3月期)	—	0円00銭	—	2円50銭	2円50銭

(2) 修正の理由

当社では、経営上重要と考えております株主の皆様への剰余金の配当につきましては、業績、配当性向並びに今後の事業展開に必要な内部留保の水準等を総合的に勘案することを基本としております。

2023年3月期の剰余金の配当予想につきましては、今回の連結業績予想の修正により、親会社株主に帰属する当期純損失が多額となる見込みとなりましたため、これまで1株当たり2円50銭としておりました期末配当予想を、誠に遺憾ではございますが無配に修正させていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、早期に復配できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

3. その他

当社は、上記の業績予想及び配当予想の下方修正にあたり、以下の業績改善策に着手しております。また、品質不適切行為に関する再発防止策の進捗状況につきましては、本日当社ホームページのニュースリリースにて公表しております「弊社一部製品に係る不適切行為公表後の状況について」をご参照願います。

(1) 製品価格及び運賃の改定

当社ホームページのニュースリリースにおいて2022年6月17日付で公表しております「製品価格および運賃改定のお願い」にてお知らせしました後、遅れておりました製品価格及び運賃の是正を進めております。

(2) 役員報酬と管理社員給与の減額

取締役（社外取締役を除く）と執行役員につきましては10%~20%、管理社員につきましては5%の減額を2022年10月より実施いたします。

(3) 資産売却

経営資源の有効活用及び財務体質の強化を図るため、保有する政策保有株式や社宅等の売却を進めてまいります。

(4) 固定費の合理化

設備投資の厳選や経費の徹底した削減により、合理化効果の早期発現に努めてまいります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

以上